

おかげ様をもちまして  国立劇場開場55周年

千代田区在住・在勤・在学の皆様限定 千代田区特別感謝デー

10月歌舞伎公演『通し狂言 伊勢音頭恋寝刃』

国立劇場は昭和41年（1966）11月、半蔵門の地に開場し、
この秋、55周年の節目を迎えます。
「伝統芸能の殿堂」として長年ご愛顧いただいた感謝の気持ちを込めて、
千代田区在住・在勤・在学の皆様に
ステージ限定・お求めやすい特別価格でご提供いたします。
近年注目を集める「刀剣」を題材に、伊勢への旅気分も味わえる
歌舞伎の名作を、この機会にぜひ！



国立劇場開場55周年記念
念のため、10月11日（月）は休演

妖刀「菅江下坂」をめぐる、
通して楽しむ！

10月2日（土）→26日（日）
※8日（金）、18日（日）は休演
12時開演
●本公演には休演がございます。

【ご観劇料】 前席 1,200円 2等席 8,000円 3等席 3,500円（小学生は半額・障害者の方は半額）
【電話】 国立劇場チケットセンター（午前10時～午後6時）0570(07)9900 03(3265)3000（受付時間） 【インターネット】 国立劇場チケットセンター 検索

新型コロナウイルス感染症の予防に、ご理解とご協力をお願いします。詳細はホームページをご覧ください。

主催：国立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁芸術振興推進委員会
National Theatre Tokyo 55th Anniversary
ACA National Arts Festival Presents
KABUKI Performance | October 2-26, 2021 12:00pm
Box office: 0570-07-9900/1000-1600 | https://ticket.ntj.jac.go.jp/top_e.htm

日本文化 EXPO
国立劇場

特別料金

1等席:7,000円

※通常:12,000円

2等席:5,000円

※通常:8,000円

対象ステージ

10月11日（月） 12時 開演

10月12日（火） 12時 開演

10月13日（水） 12時 開演

10月14日（木） 12時 開演

10月22日（金） 12時 開演

10月23日（土） 12時 開演

10月24日（日） 12時 開演

ご購入の際に、このチラシをチケット売場窓口でご提示ください！

※コピーやスマートフォンの画面もOK

※ご購入方法は裏面をご覧ください

お問合せ先：国立劇場営業課

千代田区隼町 4-1 03-3265-6751（平日 9:30～18:15）

チケットのお申込みは
国立劇場チケットセンター
 (10:00~18:00)



0570-07-9900

03-3230-3000 (一部 IP 電話等)

※事前の電話予約も可能 (インターネット申込み不可)。

公演期間中、
 刀剣博物館の協力で、
 物語の題材に使用された
 妖刀のモデル「葵下坂」を、
 折紙 (鑑定書) と共に
 ロビーで特別に展示！
 伊勢の魅力を紹介する
 お楽しみも！

国立劇場では、
 新型コロナウイルスの
 感染拡大予防のため、
 十分な対策を
 講じております。
 安心してご来場ください。

国立劇場開場 55周年記念
 令和3年度第7回文化庁芸術祭主催公演
 令和3年10月歌舞伎公演
 近松門左衛門 作
 近松徳三 演出

狂言
伊勢音頭恋寝刃
 七幕
 二幕
 一幕目
 第一場 伊勢街道相の山の場
 第二場 妙見町宿屋の場
 第三場 野道追駆けの場
 第四場 野原地蔵前の場
 第五場 一見ヶ浦の場
 第六場 古市油屋先の場
 第七場 奥庭の場

国立劇場博物館 展覧

刀を店に預けさせ、岩次の一味が刀身(刃)を抜き替えます。そこに、貢と恋仲の遊女の

十月歌舞伎公演は、国立劇場開場五十五周年記念として、『伊勢音頭恋寝刃』を上演いたします。今、刀剣の魅力が見直され、人気を集めていますが、この作品は、妖刀が物語の鍵となり、人間の運命を操ります。また、江戸時代の庶民の憧れであった「お伊勢参り」にならび「一見ヶ浦等の名所、女芸人等の風物が登場し、劇中で伊勢路の旅を歩むような趣向が盛り込まれたお芝居です。

寛政八年(一七九六)五月、伊勢国古市の遊女屋・油屋で、地元医師・藤原清が遊女・おくら九名を殺傷した事件を題材に、本作は同年に初演されました。主人公を伊勢参りにゆかりの深い御師(神官の一種)・福間貢とし、妖刀「青江下坂」をめぐる物語が展開します。

阿波国の家老の息子・今田万次郎は、君命を受けて伊勢に入り、將軍家へ献上する「青江下坂」を入手しますが、御家横領を目論む謀反人の家来・徳島岩次を騙し取られ、刀を貰い入して失い、折紙(鑑定書)を騙して取られます。万次郎の家来筋で伊勢の御師・福間貢は、神刀を支配する長官・藤原左衛門から刀の探索を依頼されます。

やがて「青江下坂」を手に入れた貢が、油屋で万次郎を待ち受けると、仲居の万野は

正気を取り戻した貢は、自分の罪深さに切腹しようとしていますが、喜助の言葉で、手にする刀が「青江下坂」と知り、銘刀の切れ味を改めて見届けます。

序幕では、悪事の密書を巡る滑稽なやりとりや「だんまじ」の演出を交え、お芝居が軽快に展開します。一幕目では、貢が衆人環視の中で辱められて、次第に怒りを募らせる過程が、練り上げられた演出によって巧みに表現されます。また、凄惨な殺し場も洗練された歌舞伎の格式美として描かれます。

梅玉が当たり役の貢を円熟の至まで演じるのを始め、時蔵、又五郎、扇倉は多彩な顔触れでお送りします。名作の舞台を心ゆくまでお楽しみいただき、錦秋のひと時をお過ごしください。

中村時蔵	仲居万野	今田万次郎	中村扇倉	坂東秀調	中村東市	藤島岩次	徳島岩次	油屋お岸	中村蒼玉	中村歌昇	油屋お龍	中村梅枝	中村又五郎	料理人喜助	藤原左衛門	福間貢	中村梅玉
------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	-------	-----	------

10月2日(金) → 26日(金) 12時開演 (午後3時終演予定)
 ※8日(金)、18日(月)は休演
 ●本公演には休演がございます。 ●出演者などの変更の場合ご了承ください。

ご観劇料 1等席 12,000円 2等席 8,000円 3等席 3,500円
 学生 8,400円 5,600円 2,500円
 *希望者の方は2割増です。また、春学期用スペースがございます。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。

予約開始 9月13日(月) 午前10時 窓口販売開始 9月14日(火) チケット発售 (午前10時~午後6時)
 *窓口販売用には別枠での取り置きはございません。

電話 国立劇場チケットセンター (午前10時~午後6時) 0570(07)9900 03(3230)3000 (-部 IP 電話等)
 インターネット
 国立劇場チケットセンター 検索
 チケットぴあ 0570(02)9999 https://t.pia.jp/
 e+ (イープラス) https://eplus.jp/

- ご来場されるお客様へのお願い
- ご入場の際、サーモグラフィーによる体温の検査を行います。発熱等の症状がある場合、入場をご遠慮いただきます。
 - 列にお並びの際は、他のお客様との間隔を空けてください。
 - 必ずマスクを着用願います。フックン後種済みの方もマスクをご着用ください。
 - 客席、ロビー等での会話、舞台への掛け声等はご遠慮ください。
 - 手洗いと手指消毒にご協力ください。
 - 出演者へのプレゼント、入り待ち、出待ち、演見聞い等はご遠慮ください。
 - 劇場バスの運行は中止しております。

国立劇場 入会費付中！ チケットの先行予約・劇中イベント・金曜誌などの特典も！
 国立劇場 あぜくら会

詳しい公演情報は
 国立劇場ホームページで <https://www.ntj.iac.go.jp/>

